

平成30年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 吉富 望

| | | |
|-------|---|---|
| 研究課題 | 安全保障及び災害対応におけるハード面・ソフト面のあり方 | |
| 報告の概要 | 研究目的及び研究概要 | <p>平成30年度個人研究費は、以下の研究を実施するために使用した。</p> <p>【安全保障】日本周辺及びアジア太平洋地域における安全保障環境が緊張度を増す中で、安全保障に関するハード面及びソフト面のあり方について示唆を見出すことを目的として研究を行った。本研究では下記を焦点として文献研究及び現地研究を行った。</p> <p>① ハード面：日本本土の防衛・治安に際して必要となる多目的高速輸送艇の研究 ② ソフト面：東南アジア諸国に対するより効果的な能力構築支援の研究</p> <p>【災害対応】大規模な災害が頻発する日本では、今後の大規模災害に備えたハード面及びソフト面での備えの充実に関する示唆を得ることを目的として研究を行った。本研究では下記を焦点として文献研究及び現地研究を行った。</p> <p>① ハード面：自治体の災害対策本部における意思決定支援システムの研究 ② ソフト面：危機管理におけるリーダーシップの研究</p> |
| | 研究成果 | <p>安全保障に関しては、ハード面の研究の焦点である多目的高速輸送艇関連の文献研究及び現地研究の成果に基づくLSVとLCUに関する論考を「世界の艦船」2019年4月号に投稿した。また、多目的高速輸送艇関連の文献研究の成果の一部を活用して米海兵隊に関する論考を「世界の艦船」2019年3月号に投稿した。一方、ソフト面に関しては能力構築支援に関する文献(主として洋書)を多く購入し、平成31年度での本格的な研究に向けての知見の蓄積に努めた。</p> <p>災害救援に関しては、ハード面及びソフト面に関連する文献を購入して文献研究を行った。この際、ソフト面たる危機管理におけるリーダーシップ研究の成果を競技スポーツに適用し、日本大学スポーツ科学部・危機管理学部合同シンポジウムにおける研究発表を行った。</p> <p>反省点としては、平成30年度では学術誌への投稿及び学会等での発表は実施出来なかったことである。この点は次年度では実施したい。</p> |
| 研究業績 | ・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数 | なし |
| | ・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所 | なし |
| | ・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題名・講演会等名 *社会貢献活動等 | <p>①雑誌投稿：吉富望『米海兵隊の組織と戦力』、「世界の艦船」2019年3月号、88～93頁 ②雑誌投稿：吉富望『LSVとLCU 新たな「海上輸送部隊」の青写真』、「世界の艦船」2019年4月号、108～111頁 ③シンポジウム発表：吉富望『競技スポーツにおけるリスクマネジメントを考える』、日本大学スポーツ科学部・危機管理学部合同シンポジウム、2018年11月4日、日本大学三軒茶屋キャンパス</p> |